

倫敦（ロンドン）から来た男（2007）

A LONDONI FE' RFI
DER MANN AUS LONDON
L' HOMME DE LONDRES
THE MAN FROM LONDON

メディア 映画

ジャンル サスペンス 犯罪 ドラマ

製作国 ハンガリー／ドイツ／フランス

色彩 B&W

時間 138分

初公開日 2009/12/12

公開情報 ビターズ・エンド

【キャッチコピー】

ある晩、静かな港で起こった殺人事件。
偶然にも大金を手に入れた男と失った男。
二人の人生が交錯し、運命の歯車が狂ってゆく。

【解説】

「ヴェルクマイスター・ハーモニー」のハンガリーの鬼才タル・ベーラ監督が、『メグレ警視』シリーズなどで知られるジョルジュ・シムノンの小説を基に、ふとした偶然から犯罪に絡む大金を手にしてしまった一人の男の運命をスリリングに描くサスペンス・ドラマ。平凡な人生を送っていた男が、ある日突然欲望と引き換えに平穏な日常を失い、心理的に追いつめられていくさまを、光と影が織りなす美しいモノクロ映像で重厚かつ緊張感いっばいに描き出す。主演はミロ斯拉ヴ・クロボット、共演に「フィクサー」のティルダ・スウィントン。

港に隣接する鉄道の制御室で働く平凡な男、マロワン。単調な毎日を送っていた彼はある晩、倫敦から来た男、ブラウンが犯した殺人の現場を目撃してしまう。その後、マロワンは海中へと沈んだ男が持っていたトランクを海から引き上げる。すると中には大量の札束が入っていた。警察はおろか家族にも打ち明けることなく、それを隠し置くマロワン。そして、いつもと同じ日常を繰り返そうとするのだが…。

【クレジット】

| | | | |
|------|----------------|----------------------|----------|
| 監督 | タル・ベーラ | Tarr Bela | |
| 共同監督 | フラニツキー・アーグネシュ | Hranitzky Ágnes | |
| 製作 | テーニ・ガーボル | Téni Gábor | |
| 原作 | ジョルジュ・シムノン | Georges Simenon | |
| 脚本 | クラスナホルカイ・ラースロー | Krasznahorkai László | |
| | タル・ベーラ | Tarr Bela | |
| 撮影 | フレッド・ケレメン | Fred Kelemen | |
| 音楽 | ヴィーグ・ミハーイ | Vig Mihály | |
| 出演 | ミロ斯拉ヴ・クロボット | Miroslav Krobot | マロワン |
| | ティルダ・スウィントン | Tilda Swinton | マダム・マロワン |
| | ボーク・エリカ | Bók Erika | アンリエット |
| | デルジ・ヤーノシュ | Derzsi János | ブラウン |
| | レーナルト・イシュトヴァーン | Lénárt István | 刑事 |